



名古屋学芸大学の特色あるカリキュラムが卒業後の活躍を強力にバックアップする。

「食」を通じて生命や健康を支える管理栄養士の職務は、近年急速に広がるとともにその重要性も増しています。そのため、管理栄養士を養成する教育機関においては、文部科学省・厚生労働省から必修科目が定められていますが、名古屋学芸大学では、国家試験合格のさらに先を見据えたさまざまな独自のカリキュラムを定め、その受講を推奨しています。特に3年次後期からは「キャリア支援分野」として将来に直結する5領域「臨床栄養」「栄養教諭」「食行動・食環境」「食品機能・食品安全」「人間栄養」を設けることで、「食と健康のスペシャリスト」として現場で活躍するための力を育みます。

学びの分野について

■ 専門基礎分野

「専門分野」を理解するための基礎的な学びが網羅されています。また管理栄養士をめざすうえで、その使命や責務を認識するための内容になっています。

管理栄養士専門基礎

人体の構造と機能および疾病の成り立ち

社会・環境と健康

食べ物と健康

■ 専門分野

より高度な専門性が求められる管理栄養士に必要な知識、理論、技術を網羅。また総合的な栄養マネジメント能力を身につけるための内容になっています。

基礎栄養学

公衆栄養学

応用栄養学

給食経営管理論

栄養教育論

総合演習

臨床栄養学

臨地実習

■ 教養科目

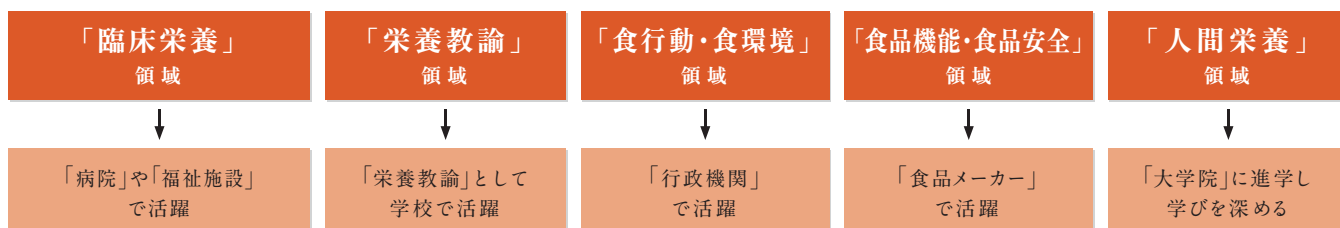
管理栄養士としてだけでなく、社会の一員としての幅広い教養を身につけるための内容になっています。

英語の世界、人間の探究、歴史と文学、社会のしくみ、現代社会の特質、自然科学へのいざない、芸術の世界、ウェルネス、情報技術と学際的探究、世界の言語、一般開放科目群

将来のフィールドに合わせた 名古屋学芸大学独自の科目

キャリア支援分野

現場で活躍できる力を身につけるため、3年次後期から開講される下記5領域のうちからひとつを選択し、将来のフィールドに合わせて重点的に専門性を深めます。



メリット①

めざす将来のフィールドに向けた専門性を、時間をかけて重点的に深めることができる。

メリット②

4年次に迷うことがなくなり、効率的な就職活動を行うことができる。

1年次

2年次

3年次

4年次

専門基礎分野				
管理栄養士 専門基礎	講義	管理栄養士概論／基礎化学●／人体生物学の基礎／管理栄養士特講(エキサイティング)		
社会・環境と健康	講義		公衆衛生学I・II●／医療福祉概論	健康管理論／食と環境／介護概論
	実習		公衆衛生学実習●	医療福祉実習
人体の構造と機能 および疾病の成り立ち	講義	生命の科学●／人体の構造と機能I(恒常性維持)●／人体の構造と機能II(臓器・器官系)●／生化学I・II●	疾病の成り立ちI(生活習慣病)●／疾病の成り立ちII(臓器・器官別疾患)●／実践臨床医学●	薬理学
	実験		生化学実験●／解剖生理学実験●	代謝栄養学実験
食べ物と健康	講義	調理学●／食品学I●／食品微生物学●	食品学II●	
	実習	調理学実習I・II●		
	実験	基礎食品栄養学実験●	食品学実験I●	食品学実験II●

専門分野				
基礎栄養学	講義		基礎栄養学●	
	実験		基礎栄養学実験●	
応用栄養学	講義		応用栄養学I・II・III●	スポーツと栄養
	実習			応用栄養学実習●
栄養教育論	講義		栄養教育論●／栄養指導論●	
	演習		栄養カウンセリング演習I●	
	実習			栄養教育実習●
臨床栄養学	講義		臨床栄養学I・II・III●	臨床栄養学IV●
	実習			臨床栄養学実習I・II●
公衆栄養学	講義		公衆栄養学I●	公衆栄養学II●
	実習			公衆栄養学実習●
給食経営管理論	講義	給食管理●	給食管理●／給食経営●	給食経営●
	実習		給食管理実習●	
総合演習	演習			総合演習I・II●
臨地実習	実習			管理栄養士実習●
関連分野	演習		国際栄養学演習／国際栄養・食文化演習／食と健康のフィールドワーク	管理栄養士演習入門
				管理栄養士演習(卒業演習・研究)

キャリア支援分野				
人間栄養	講義		分子栄養学	食品栄養科学英語
	演習			栄養情報処理演習
臨床栄養	講義		臨床医学特論	
	演習		栄養ケア・マネジメント演習	臨床医学演習
栄養教諭	講義		家族心理学／栄養教諭特論	食物とアレルギー
食行動・食環境	講義		食生論	栄養疫学／地域コミュニケーション論
食品機能・食品安全	講義		食品機能論／健康食品とサプリメント／衛生管理システム	
特別講座	講義	化学入門	最前線の栄養学	管理栄養士特論I・II・III・IV／国試対策
その他	講義		学校栄養指導論I・II	

教養科目	
英語の世界	演習 英語コミュニケーションA・B／総合英語A・B／実践英語A・B・C・D
人間の探究	講義 哲学へのいざない／宗教と文化／民族と文化／現代社会と倫理／心の科学／青年期の心理
歴史と文学	講義 日本の歴史／西洋の歴史／アジアの歴史／日本の文学／英米の文学
社会のしくみ	講義 日本の憲法／法と社会／政治と社会／経済と社会／企業と社会
現代社会の特質	講義 情報と社会／社会学／アメリカの社会と文化／国際社会の動き
自然科学へのいざない	講義 数と形／確率と統計／自然のしくみ／人間と地球環境／科学の歴史
芸術の世界	講義 美術の世界／音楽の世界／文芸の世界／演劇の世界
ウェルネス	実習 スポーツと健康I(実習I)／スポーツと健康II(実習II)
	講義 スポーツと健康科学／食と健康
情報技術と学際探究	演習 情報リテラシー／表計算演習／プレゼンテーション演習／データベース演習／プログラミング演習／教養総合演習
	講義 情報基礎論／情報倫理
世界の言語	演習 フランス語I・II／中国語I・II
	講義 日本語表現
一般開放科目群	講義 写真史／映画史／アートとしての数学／デザイン論／子どもと社会

教職に関する科目		
教職入門	道徳教育の研究	教職実践演習(栄養教諭)
教育原論	特別活動の研究	栄養教育実習指導
教育心理	教育方法論	栄養教育実習
教育行政学	生徒指導論	
教育課程	教育相談とカウンセリング	

取得できる資格

- ・管理栄養士(受験資格)
- ・栄養士(取得資格)
- ・栄養教諭一種
- ・食品衛生監視員(任用資格)
- ・食品衛生管理者(任用資格)
- ・健康食品管理士(受験資格)

任用資格：企業・機関などが採用の条件とする場合があるが、管理栄養学科のカリキュラムを履修すれば取得できる。

※上記は、2016年度入学生用のカリキュラム。
※教養科目は4年間を通じて開講。(ただし、一部科目を除く)
※●は管理栄養士受験資格取得に必要な科目。